

## 日御碕灯台

日本海を見下ろす断崖に位置する出雲日御碕灯台は、島根海岸の立派な飾り物だ。高さ43.65メートル、海面から灯塔の頭上までは63メートルと、石造灯台としては日本一の高さを誇る。1903年に設置された歴史的なこの灯台は、百年を超えて多数の船を導いてきた。

日本で20以上も灯台を建てた「日本の灯台の父」リチャード・ヘンリー・ブラントン（1841年 - 1901年）が工夫を凝らしたこの壁は、たくさんの地震に耐えてきた。ブラントンの灯台は高さを下げて安定性を強めており、煉瓦を白い石が覆った珍しい二層構造で、日御碕灯台はこれ以降に建てられた灯台のモデルとなった。

日御碕灯台は2013年に国の登録有形文化財に指定され、1998年には世界灯台百選に選ばれた。キャンバスのような白い壁が海と空の色の変化を映し、名高い夕日に息をのむほど優美なシルエットが浮かび上がる。